

あくた がわ く ら ぶ

芥川俱楽部



ひとつ魚にやさしい芥川をネットワークする情報誌

S P E C I A L T O P I C S

特集 ひとつ魚にやさしい 芥川を目指した365日



VOL.4

2006 SPRING&SUMMER

S P E C I A L N E W S !

速報!! アユの遡上を確認。

6月7日に芥川大橋直下の瀬にて6匹、
16日には「実験魚みち」にて1匹の
遡上アユが捕獲・確認
されました。「魚みち」
をつくることにより、
芥川にアユが戻る
可能性があります
高まってきたました。



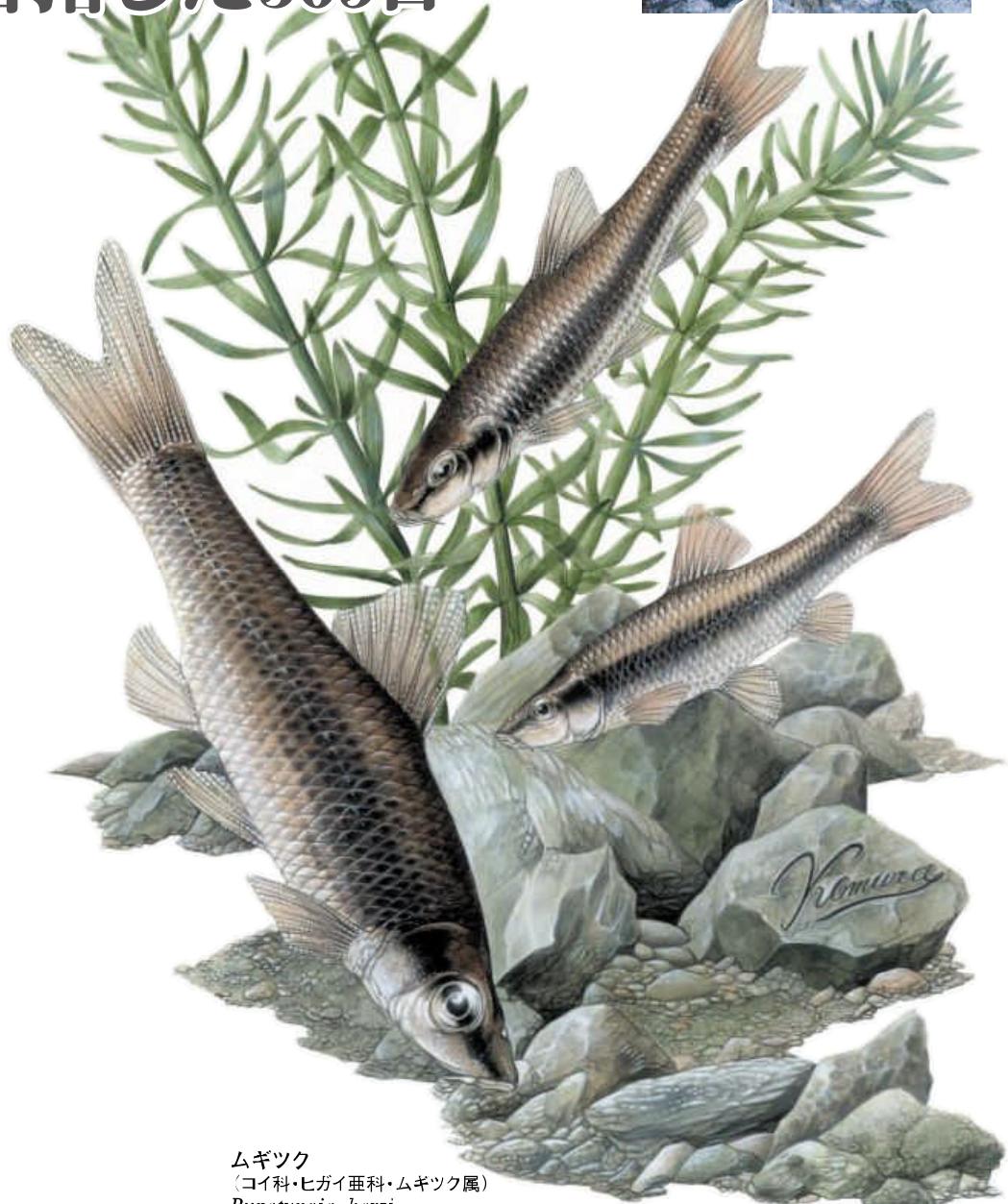
NEWS! 芥川俱楽部のHPができました!!
活動の詳しい内容を掲載しております。
ぜひご覧ください。
<http://www.akutagawa-club.net/>

芥川おさかな博物学

水面下のカッコウたち

蝉時雨の頃、黒のラインが美しいムギツクの若魚たちが群れ遊ぶ姿が見られます。熱帯魚にも劣らないその姿は、淡水アクアリストたちの憧れ。流れの緩やかな灌漑用水路、岩や沈水植物帶の隙間で生息し、ドンコやオヤニラミに托卵するという独特的な繁殖手段は、まるでカッコウやホトギスのごとく。丈夫な口唇で川底の石をつつく時に発する「コツコツ」といった音と行動から、近畿ではイシコツキ・トグチとも称されます。以前は各地で普通に見られたのですが、近年では大阪府のレッドデータ・カテゴリーで絶滅危惧II類に分類されるほどに減少しました。

絵と文／nature works 小村一也



ムギツク
(コイ科・ヒガイ亜科・ムギツク属)
Pungtungia herzi



命の肖像を描く行為は、事実を洞察することもある。

メンバー
クローズアップ

nature works
小村一也 vol.4



も自然は存在し、命の営みが繰り返されています。私は地元の淡水魚を中心に、身近な生き物たちの精密生態図を描いています。モチーフを琵琶湖・淀川水系に広く求め、各地へと赴く中、深山の溪流や手つかずの池沼、隠れた穴場を探り、様々な小動物を観察します。しかしそんな中、芥川が都心部を縱断する身近な川でありながら、多様な自然や生物と会える素晴らしい自然環境が顕在することに改めて驚かされます。生物の棲息エリアは山間部から平野部へとなどらかなグラデーションのように変容し、それぞれの小宇宙は私たちに素晴らしいドラマを見せてくれます。芥川はまさに生き物たちのサンクチュアリといえますね、私は、生物と自然を

私たちが何気なく、
そして見過ごしている当たり前の風景。
見慣れた日常の中に

描く行為を「事象をしっかりと見つめる」ことだと考えています。魚や鳥、昆虫や草花、すべての命はそれぞれに関係し、何らかの影響を与えながら生きています。もちろん私たち人間も、そこには必ず命の連鎖と共に、相互の距離や関係が存在します。私たちは普段、身近な自然に気を止める余裕がないかもしれませんし、あまりにも当たり前の生き物たちに特段の关心を持つ事は少ないでしょう。しかし、その命たちこそ、私たちにとって最も直接に相互がかわり合い、影響し合っているのではないでしょうか。ドラマチックな大洋や大陸の自然を描くアーティストたちが、私はそんな身近で見過ごされがちな自然の肖像画を描き、多くの人たちと関わりの輪を広げていきたいと思っています。

■ニッポンバラタナゴの産卵行動図



芥川俱乐部インタビュー①

芥川美化奉仕会 会長 久保杏慈さん

美化奉仕会は、昨年10月で25周年を迎え、会員は約60名。河川の清掃にとどまらず、山の植樹・間伐等を通じて水の循環を考え活動しています。会員は大変仲がよく、今後も、このつながりを大切にしていきたいと思っています。最近では20代・30代の方も多く入会してくれたことから、芥川を愛してくれる後継者が育つ事を嬉しく思っています。この度、(社)日本河川協会から河川労働者表彰を受賞しました。これもひとえに会員の取組みのおかげです、昨年7月から芥川俱乐部の実験魚みちづくり等にも参加していますが、早い時期に本格的な魚みちが設置され、アユが遡上することに期待しています。余談ですが、私自身、46年間の様々な社会奉仕活動の中で、みなさんから「元気の源はなんですか?」と質問を受けます。それはばり、酒・ストレッチ体操と、武道(柔道・柔剣道・短剣術)で鍛えた体で、今もなお衰え知らずです。「芥川俱乐部」の活動も、その継続と実践が私にとっての体力づくりであり、ライフワークです。



芥川俱乐部 通信

芥川俱乐部インタビュー③

芥川俱乐部の中島さん

河川レンジャーに任命される

「河川レンジャー」とは、国土交通省淀川河川事務所が設置する河川レンジャー運営会議が任命し、淀川流域に関わる地域での環境学習や生物調査、更には、水防・防災等の啓発活動など、河川事務所との間に立って、淀川流域をフィールドに河川に関する取組を主導する役わりです。

私はこれまで芥川俱乐部のメンバーとして、芥川を愛し、地域の人々に芥川の自然を紹介してきました。今後、河川レンジャーとしてこれまで以上に活動範囲を広げ、芥川俱乐部の活動にも良い刺激を与えていきたいと考えています。



芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク 〒567-0034 茨木市中穂積1丁目3番43号 大阪府茨木土木事務所総務企画課 TEL.(072)627-1121/FAX.(072)625-8060

芥川俱乐部

〒569-0067 高槻市桃園町2番1号 高槻市市長公室総合政策室 TEL.(072)674-7393/FAX.(072)674-7384 http://www.akutagawa-club.net/

企画・編集／川いい会 石山郁慈・神谷清 nature works 泉野幸彦

あくあぴあだより

芥川のサンショウウオ

みなさん、サンショウウオって知っていますか?

トカゲみたいな形でつるつとした両生類(カエルの仲間)です、オオサンショウウオは特別天然記念物で有名ですね。芥川の上流でも生息しており、数年前に体長150cmの大物が確認されています。芥川にはもう一種、ヒダサンショウウオという小型のサンショウウオがあります。体長は20cmに満たない、この小さなサンショウウオは芥川の支流で産卵し、エラのある幼生期を細い流れの中ですごした後、変体してエラがなくなり、川から離れてきます。成体は石や落ち葉の下の湿ったところに潜んでるので見る機会は少ないので、幼生の時なら川の中にたくさんいるので、春に探せば3cm~5cmぐらいの子供たちを見つけることができます。ヒダサンショウウオは高槻市の保護動物の上、飼育が非常に難しいので、絶対に持ち帰らないでください。

■ヒダサンショウウオ
Hynobius kimerarum Dunn
サンショウウオヨ/サンショウウオ科【大阪府カテゴリー】準絶滅危惧

